

令和6年10月22日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和6年10月22日（火） 午前8時37分から午前9時28分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・市長に就任してから、来月で4年目を迎える。選挙公約で掲げた51項目をすべて着手でき、また、任期後半の取組方針についても着実に進めることができている。引き続き「変革」「挑戦」の取組を加速していきたいと考えている。まずは今年度の事業の一つひとつを丁寧に進めることで、それが市民に浸透し、市民の皆様に変化を実感いただけるようになると考えているので、よろしくお願いしたい。
- ・「令和7年度予算編成方針」である『未来の飛躍に向けた「変革」・「挑戦」と持続可能な財政運営の維持』のもとに、各部局において予算要求の取りまとめを行っている。将来を見据えたビジョンを描きつつ、市民や地域、経済団体等の理解も得ながら、「長野市の強みを活かした未来への投資」を戦略的に進めていきたい。
- ・8月中旬から、地区の住民自治協議会や地域住民と意見交換を行う「みどりのテーブル」として、「ながの未来トーク」や「ようこそ市長室へ」を行っている。市民の意見を聴く場として、みどりののはがきや各団体からの要望とともに、大変貴重な場であると考えている。地域からはそれぞれが持つ課題について意見や要望が挙げられている。現状で理解いただかなければならない案件もあるが、そのような状況にあっても、事前に部局を越えて検討したり、状況を調査したりと、支所とも相談しながら、当事者目線、市民目線に立った準備を行い、本番に臨んでいただきたい。また、意見交換後においても、支所を含め関係部局が、必要に応じて地域との対話、コミュニケーションをとることが大切であると考えている。
- ・今年に入り、委託事業者を含め、個人情報漏えい事案や事務処理ミスが見受けられる。それぞれ状況は異なるが、職員の事務ミスやチェック体制によるものが多い。市政運営において、市民の信頼を失いかねないため、あらためて各部局において情報管理の徹底をお願いしたい。
- ・今月から、各地域での観光・文化芸術のイベントや、初開催の果樹サミットなどの農林業イベント、スポーツイベントが開催されている。先日Bプレミアへの参入が決定した信州ブレイブウォリアーズのホームゲームでは嬉しい結果となった。市民として、また職員としても、様々なイベントに参加していただきたい。
- ・10日ほどで11月となり、気温もさらに下がってくる。週末には衆議院議員総選挙があり、多くの職員が投票・開票事務に従事する。季節の変わり目で体調を崩しやすいため、休める時はしっかりと休み、リフレッシュしながら、爽やかな気持ちで仕事を行っていただきたい。

1 協議事項

（1）一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（環境部）

標記事項について、環境部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(2) 戸隠キャンプ場及び飯綱高原キャンプ場の利用料金に係る条例改正について (観光文化部)

標記事項について、観光文化部長から説明した。(資料2参照)

○質疑

[企画政策部長] 飯綱高原の入場料は、デイキャンプを利用する方の入場料だと思うので、単に散策される方の入場料がかかるわけではないことを明確にしていきたい。

[観光文化部長] 散策する方やレジャーシートを持ってきて少し休憩するような時には料金はかからない。

○今後の方向性

原案を了承

3) 温浴施設の利用料金に係る条例改正について (観光文化部)

標記事項について、観光文化部長から説明した。(資料3参照)

○質疑

[財政部長] 6ページの競争力の低い施設については、「地域振興の役割を担い、市が指定管理料を入れながら」とあるが、このような施設も基本的には税金を入れるのではなく、利用料で運営費を賄うことが基本だと思うので、「必要に応じ市の指定管理料を入れながら」など、文言の修正をお願いしたい。

次に、標準額と上限額の設定の考え方について、先程説明のあったキャンプ場は標準額から2倍がベースになっているが、日帰り入浴料は標準額の概ね1.5倍、宿泊料は標準額の概ね2倍という考え方を教えてほしい。

[観光文化部長] 日帰り入浴料を1.5倍としたのは、利用者のほとんどが市民利用ということを踏まえている。宿泊料については、主に市外からお越しいただく方が宿泊するので、2倍の高めの設定をしている。なお、文言については修正する。

[財政部長] 1.5倍の考え方については、市民利用が多いことを記載した方が分かりやすいと思うので、検討をお願いしたい。また、松代荘が2万5,000円、やきもち家は1万4,000円を標準額とする具体的な根拠はあるのか。

[観光文化部長] 松代荘については、類似施設の平均値2万3,175円を目安に2万5,000円を標準額とした。また、やきもち家も古民家を改装した類似施設の平均値1万3,310円を目安に1万4,000円とした。

[財政部長] そのことを説明する必要があると思う。そこで、標準額の根拠を示して、あとは指定管理者との協議によって決まることを分かるようにした方が良いのではないかと。

[観光文化部長] 記載を加えるなど、資料を修正する。

[保健福祉部長] 湯〜ばれあの料金区分に高齢者があるが、他に高齢者の区分がある観光文化部所管の温浴施設はあるのか。

[観光文化部長] 他にはない。

[保健福祉部長] おそらく利用者のほとんどが高齢者だと思う。仮に、料金が上がると高齢者の利用が減って、料金収入が少なくなるのではないかと。

[観光文化部長] 今回は将来の料金見直しに向け、条例の上限額を引き上げるものである。今後、指定管理者に対して料金改定の際に利用者の属性を加味した料金にするよう指導をしていきたい。

[観光振興課長] 今年度、観光振興課において利用者調査を実施し、利用者の8割が60歳以上である。

[市長] 3ページの見直しの必要性の理由のひとつに民業圧迫が記載されているが、社会情勢が変わり、燃料等のコストが上昇したことが料金改正する真の理由ではないのか。

[観光文化部長] 市長の発言のとおり物価高による料金へのコスト転嫁が遅れていることが課題であるので、資料を修正する。

[企画政策部長] 先程のキャンプ場も含めて、具体的に料金改定する時期は決まっているのか。

[観光文化部長] 具体的な料金改定の時期は決まっていない。料金改定に当たっては、地元にきちんと説明して、了解をいただいた後と考えているので、しばらく時間がかかると思う。

○今後の方向性

資料を修正した上で、原案を了承

＜総務部長から＞

- ・市長の冒頭あいさつのとおり事務処理誤りが連続して発生している。このうち個人情報の漏えいについては、過日、長野市情報セキュリティポリシーの再確認と遵守事項の徹底について通知した。
- ・長野市事務処理適正化対策委員会委員長から、個人情報の漏えい事案も含め、事務処理誤りに対する再発防止策を取りまとめたものと、正確な事務処理を徹底し、再発防止に努めることについて部局長(同委員会委員)に通知するので、各部局において周知徹底をお願いしたい。

以上